

食のまちづくり

海の拠点施設がオープン

小浜市では、食のまちづくりを開始して以来、観光交流人口は着実に増加しています（10ページに関連記事）。さらなる増加を目指し、誘客活動を展開している中、四月十二日に「釣る、料理する、食べる」の三拍子そろった体験交流施設「ブルーパーク阿納」がオープンしました。

同施設は、五〇坪×三〇坪の釣り堀（さばきやすいサイズ（約三〇センチ、七〇〇グラム）のマダイが放流）、百人が同時に料理できる調理場、さばいた魚をその場で食べるためのガスコンロなどが用意されています。阿納体験民宿組合の皆さんが釣り方、調理の方法などを指導してくれます。また、養殖のトラフグの餌やり体験もすることができます。

オープン当日、さっそく内外海小五・六年生が体験。五月末には姉妹都市の奈良市から中学生が、本年度中には市内の中学二年生が体験学習する予定であり、観光と食育の両面から期待される「食のまちづくり海の拠点施設」です。市では今後、この体験交流施設を含め、観光資源の魅力を広く情報発信するとともに、積極的に誘客事業を展開していきます。



釣る



料理



食べる

ブルーパーク阿納を利用した内外海小五・六年生の感想

- 阿納の人に助けってもらったので、釣りのやり方がすぐにわかりました。みんなに教えてもらってばかりもタイを釣ることができました。楽しかったです
- 魚が重かったのががんばって釣り上げました。釣れた魚が大きかったのでびっくりしました。一匹にたくさん食べるところがあった、おなががいっぱいになりました
- 釣ってすぐに食べたので、すごく新鮮で生臭くなくておいしかったです。やっぱり自分で釣った魚は最高です
- 釣った魚をその場でさばいて刺身にしたり、焼いたりして食べられるのでおいしいです。この施設にたくさんの方が来て、魚を食べしてほしいです
- 大きくて、重くて、きれいな魚だったので、釣れたときはすごくうれしかったです
- 今日は楽しかったです。また遊びに来たいです

市の活性化に結びつく施設にしたい

ブルーパーク阿納の最大の目的は、地域の活性化です。冬場はフグやカニを食べに来られるお客さんが多いですが、春から夏、秋口は少ないですし、夏でも家族連れの海水浴客は少なくなりました。この施設のオープンにより、少しでもお客さんが増えれば、阿納から内外海、そして小浜市へといろいろな面で波及すると思います。体験型学習の受け入れは、全国的に増えてきているんですよ。ただ、簡単に始められるわけではありません。今までの宿泊や食事のお客さんの

対応とは別に、釣りや調理指導などの人手がさらに必要ですし、施設の建設費などの問題もあり、とても個人でできることではありません。この施設は、集落（組合）が協力して、共同で立ち上げたものなんです。海＝海水浴しかないと思っている人にとって、体験型施設は魅力的なものになります。市外からの旅行はもちろん、学生さんのサークル活動、そして地元の皆さんにもぜひ利用してもらいたいですね。



阿納体験民宿組合 副組合長 下 函 忠彦 さん

【釣り体験】	
営業時間	6時～15時
料 金	阿納宿泊客…2,000円 一般…3,000円 2時間または3匹まで。4匹目からは1匹1,200円。貸し竿、餌、氷は別途
申し込み	阿納体験民宿組合体験釣堀部 ☎54・3611
【魚さばき体験】	
営業時間	10時30分～12時30分
料 金	1,500円（5人以上で実施。要予約）
申し込み	同料理体験部 ☎54・3610
※営業期間は4月から10月の予定です	

人事異動

市では、四月一日付で人事異動を行いました。

平成十九年度を、「改定第四次総合計画および行政改革集中改革プランを軌道に乗せる年度」と位置づけ、行政改革推進グループや少子化対策推進室の新設ほか、課・室・グループの見直しを行い、社会情勢の変化と市民ニーズに的確かつ迅速に対応できる体制を整備しました。

また、男女共同参画の推進と職員的能力が十分発揮できる職場づくりを目指し、女性職員九人を含む十三人を課長補佐級に昇任したほか、幹部職員七人を含む退職者の補充を重点とする必要最小限の異動としました。

主な内容は、次のとおりです。

- ① 「行政改革推進グループ」の新設
- ② 「少子化対策推進室」の新設
- ③ 「ちりとてちん室」の新設
- ④ 課、室、グループなど組織の見直し
- ⑤ 「政策幹」の配置など、食のまちづくりを充実
- ⑥ 企画調整課の体制を見直し地域内

情報課を推進

- ⑦ 世界遺産推進室の充実
- ⑧ 政策専門員の拡充
- ⑨ 国、県および県警との人事交流の継続
- ⑩ 昨年度当初比十二人の職員を削減
- ⑪ そのほか
 - ・ 「山川登美子記念館」開館に伴う人員配置
 - ・ 市公共施設管理公社の廃止
 - ・ 学校および保育園の給食調理員の嘱託化



辞令交付式で宣誓する竹島義淳さん

異動は、部長級六人、部次長級八人、課長級十人を含む百二十八人です。()内は旧任・旧所属。GLはグループリーダー。

■部長

- 政策幹兼食のまちづくり課長事務取扱 大熊武(市民まちづくり部政策審議監)
- 市民まちづくり部長 富田実(総合政策部防災監)
- 福祉環境部長 大江正男(総務部政策審議監)
- 議会事務局局長 服部由幸(教育委員会事務局局長)
- 監査委員事務局局長 田井克己(市民まちづくり部長)
- 教育委員会事務局部長 島本俊博(福祉環境部マネジャー)

■部次長

- 総合政策部 政策審議監兼世界遺産推進室長事務取扱 高橋敏恵(会計課長)
- 総務部 政策審議監兼契約検査課長事務取扱 四方澄雄(農林水産課長)
- 市民まちづくり部 マネジャー兼商工振興課長事務取扱 藤澤徹(商工振興課長)
- 福祉環境部 マネジャー兼健康長

課長事務取扱 吉岡澄生(教育委員会事務局政策審議監) 政策審議監兼環境衛生課長事務取扱 竹村次夫(鉄道新線・公共交通課長)- 産業建設部 政策審議監兼都市計画課長事務取扱 清水省悟(都市計画課長)
- 教育委員会事務局 マネジャー兼教育総務課長事務取扱 岸本守(契約検査課長) 教育審議監 山内良弘(嶺南教育事務所次長)

■課長

- 総合政策部 世界遺産推進室調査役 杉本泰俊(企画調整課世界遺産推進室長・主幹) 財政課長 山本博(健康長寿課長) 総合防災課防災監 塩野喜一郎(総合防災課GL・主幹) 鉄道新線・公共交通課長 芝田明和(企画調整課GL・主幹)
- 総務部 市長室長 坪内定和(商工振興課企業誘致・雇用推進室長・主幹)
- 市民まちづくり部 市民生活課長 前野光信(農林水産課GL・主幹)
- 福祉環境部 医務保健課長 品川憲治(文化会館長)
- 産業建設部 農林水産課長 井上助博(食のまちづくり課GL・主幹)
- 会計課長 熊谷博司(図書館長・主幹)

●教育委員会事務局 文化生涯学習課長 重田治樹(医務保健課長)

■主幹

- 総合政策部 企画調整課GL 藤本周次(教育総務課GL・首席課長補佐) 企画調整課GL 仲野郁夫(企画調整課政策法務室GL・首席課長補佐) 総合防災課GL 滝口克巳(食のまちづくり課GL・首席課長補佐)
- 総務部 市長室GL 吉村忠康(市長室GL・首席課長補佐) 総務課GL 赤川誠一(総務課GL・首席課長補佐) 総務課GL 橋本長一朗(総務課GL・首席課長補佐)
- 市民まちづくり部 食のまちづくり課GL 松林吉博(健康長寿課GL・首席課長補佐) 市民生活課GL 西本豊茂(会計課GL) 商工振興課企業誘致・雇用推進室長 山口雅巳(食文化館副支配人・首席課長補佐)

- 福祉環境部 クリーンセンター所長 岩本安正(上下水道課GL)
- 産業建設部 上下水道課GL 崎行生(上下水道課GL・首席課長補佐)
- 教育委員会事務局 文化生涯学習課 文化芸振興室長 松浦英明(クリーンセンター所長)

■首席課長補佐

- 福祉環境部 衛生管理所次長 古谷芳夫(クリーンセンター次長)
- 産業建設部 農林水産課GL 増田吉裕(税務課GL) 道路河川課GL 地村敏幸(上下水道課GL)
- 会計課GL 六塚人(社会福祉課GL)
- 教育委員会事務局 文化生涯学習課GL 山本昌成(市民生活課GL)

■課長補佐

- 総務部 市長室GL 橋本敏博(総合防災課) 税務課GL 松井直美(税務課) 税務課GL 地村知代(税務課)
- 市民まちづくり部 食文化館副支配人 中野純子(観光交流課国際交流室) 市民生活課男女共同参画室長 森下和子(税務課GL)
- 福祉環境部 社会福祉課GL 岡田泰治(医務保健課GL) 母と子の家デイサービスセンター園長 木谷敬子(母と子の家児童デイサービスセンター) 雲浜保育園長 吉川昌子(内外海児童センター園長) 西津保育園長 多辺千恵子(国富保育園長) 内外海児童センター園長 野瀬直枝(内外海児童センター) 国富保育園長 吉岡恒子(中名田保育園長) 宮川保育園長 服部智子

■企画主査

- 総合政策部 企画調整課 畑中三枝(健康長寿課) 世界遺産推進室 安田宗子(社会福祉課) 財政課 東野克拓(道路河川課) 総合防災課 上窪弘之(農林水産課)
- 総務部 税務課 廣瀬香代子(鉄道新線・公共交通課) 税務課 今井俊彦(社会福祉課)
- 市民まちづくり部 市民生活課 天谷裕子(医務保健課) 観光交流課 国際交流室 百田典子(都市計画課) 商工振興課 藤井多香子(体育課)
- 福祉環境部 母と子の家児童デイサービスセンター 下島明子(加斗保育園) 遠敷保育園 中西富美乃(口名田保育園) 中名田保育園

■主査・主事

- 総合政策部 企画調整課 内田靖彦(総合防災課) 世界遺産推進室 野瀬昌寿(都市計画課) 財政課 齋藤寛之(企画調整課政策法務室) 財政課 竹浦大輔(企画調整課世界遺産推進室) 鉄道新線・公共交通課 的場英美(教育総務課) 鉄道新線・公共交通課 小笠原章夫(上下水道課)
- 総務部 市長室 森下雅至(総務課) 市長室 畑田康広(観光交流課) 総務課付 岡寿郎(上下水道課)

食文化館 キッチンスタジオ

キッチンスタジオでは、どなたでも調理体験、加工体験（おみやげ作り）ができます。調理台は5台で、定員はそれぞれ8人。全体で40人までご利用いただけます。



加工体験（おみやげ作り）

「サバの押し寿司」「はんぺん」など、小浜の代表的なおみやげを作って、家族や友人へプレゼントにしたいですか。
※グループマザーメイドがお手伝いします
料金 400円～1,500円
時間 ① 10時～12時
② 14時～16時



調理体験

4人以上のグループが対象。小浜の豊富な食材を使った季節の料理や郷土料理を作りますか。
※グループマザーメイドがお手伝いします
料金 600円～
時間 ① 10時～13時 ② 14時～17時
③ 18時～21時



貸し調理台

皆さんで材料などを持ち込んで、自由に調理を楽しめます。
※グループマザーメイドのお手伝いはありません
料金 調理台1台につき500円
時間 ① 10時～13時 ② 14時～17時
③ 18時～21時

一申し込み方法一

キッチンスタジオは予約制となっています。
気軽にお問い合わせください。
※予約は3日前までをお願いします

■申し込み・問い合わせ

御食国若狭おばま食文化館
〒917-0081 小浜市川崎三丁目4番
☎ 53・1000 FAX 53・1036
ホームページ
<http://www.city.obama.fukui.jp/mermaid/index.htm>
休館日 水曜日

課) ▼総務課 芝和繁(財政課) ▼
税務課 大谷拓也(財政課)
●市民まちづくり部 ▼食のまちづく
り課 河野泰和(市長室) ▼市民生
活課男女共同参画室 吉田美代子
(健康長寿課) ▼観光交流課 竹内
彰朗(体育課) ▼観光交流課ちりと
ちん室 栗原直希(観光交流課)
●福祉環境部 ▼社会福祉課 松崎英
子(環境衛生課) ▼社会福祉課 坂
上文紀(財政課) ▼社会福祉課 松
木浩代(教育総務課) ▼社会福祉課
大和美香(文化生涯学習課) ▼内外
海児童センター 島中洋子(国富保
育園) ▼国富保育園 吉田めぐみ(今
富第一保育園) ▼遠敷保育園 早左
古真由(小浜第二保育園) ▼今富第
一保育園 山田陽子(今富第二保
育園) ▼今富第一保育園 田中良恵(松
永保育園) ▼加斗保育園 小林美希
(今富第一保育園) ▼健康長寿課
森川澄子(農林水産課) ▼健康長
寿課 栗原安浩(市民生活課) ▼健康
長寿課 高島清美(文化生涯学習課)
●産業建設部 ▼農林水産課 上野正
博(上下水道課) ▼道路河川課 松
見和行(上下水道課) ▼都市計画課
平井敬子(総務部付) ▼都市計画課
中山治和(上下水道課) ▼上下水道
課 高島伸也(健康長寿課) ▼上下
水道課 仲塚政弘(道路河川課舞鶴

若狭自動車道対策室)
●教育委員会事務局 ▼教育総務課
河原祐美(社会福祉課) ▼文化生涯
学習課 鈴木よしみ(食のまちづく
り課)
■技能労務職
●教育委員会事務局 ▼小浜第二中
学業務指導員 中嶋和枝(小浜第二
中学校用務調理員) ▼小浜中学校用
務調理員 早裕子(小浜小学校用務
調理員)
■政策専門員
▼行政法務担当 仲野郁夫 ▼文化遺
産担当 下仲隆浩 ▼観光振興担当
竹田茂芳 ▼文化芸術担当 渡辺英明
■派遣
▼福井県後期高齢者医療広域連合
小松隆次郎(環境衛生課)
■新採用
▼総合防災課 竹島義淳 ▼税務課
下口浩司 ▼食のまちづくり課 柄本
歩美 ▼社会福祉課 池田真美 ▼医務
保健課 中野愛佳 ▼環境衛生課 建
矢智司 ▼上下水道課 藤田卓弥
■退職
▼樽谷清(監査委員事務局長) ▼中

積重喜(福祉環境部長) ▼中野繁(議
会事務局長) ▼建矢金雄(教育委員
会事務局マネジャー) ▼高島重郷(総
合政策部政策審議監) ▼小川修市(産
業建設部マネジャー) ▼中川春子(雲
浜保育園長) ▼塚本孝夫(財政課 G
L) ▼岡彩子(宮川保育園長) ▼下
島和子(西津保育園長) ▼富永和美
(企画調整課 GL) ▼上原史子(母

と子の家児童デイサービスセンター
園長) ▼岩崎孝俊(衛生管理所次長)
▼塩野弘恵(小浜幼稚園) ▼井上環
(社会福祉課) ▼人見圭介(税務課)
▼大道誠一(総務課) ▼角野文博(小
浜中学校) ▼高山ハツ枝(小浜中学
校)
▼福井県教育委員会へ 池上信也
(教育委員会事務局教育審議監)
辞令交付式での市長訓示
御食国大使の田辺昇一さんの著書
の一節に「人生は、人の計り知れな
い運命という横糸と、その人の努力
という縦糸のあやなす織物かもしれ
ない。自分でも発見できないすばら
しい宝を自分自身の手で発掘してい
こうとする努力、どうにもならない
運命を、素直に受け止めていこうと
する気持ちが相補っていく。人生の織
物は実に興味深い。壁にぶつかって
また一段と努力する場が与えられた
と感じ挑戦をする。そうすると新し
い世界が開けてくる。このような経
験を積んでいくと、無限の鉱脈を掘
り起こす気持ちがわいてくるから不
思議である」という一文がある。今
回の異動を運命の横糸というよう
に受け止めて、新しい世界を開いて